

# 食品値上げ 1万5000品目 1月以降

民間信用調査会社の東京商工リサーチが21日に発表

した国内の主要食品メーカー200社を対象にした調査によると、今年1月以降の値上げは、115社と6割弱に及びました。値上げの対象商品は、1万5012品目に及び、1月の前回調査分(1万36品目)から4976品目増えました。

値上げ対象の理由別(重複あり)では、「原材料」の影響が1万4389品目とトップで構成比95.8%を占めました。次いで、「資源・燃料」の1万3905品目、「資材・包材」が1万2184品目と続きました。

値上げ率では、「5%以上10%未満」が最多の6684品目(構成比44.5%)で

した。次いで、「5%未満」が4314品目でした。

分類別では、最多が加工食品の4614品目で30.7%と全体の3割を占めました。次いで、調味料が3105品目でした。また、マヨネーズや練り

物類などの商品では卵の不足の影響が出ています。

3月、4月は各月50社前後の値上げが行われる予定。東京商工リサーチは、「長期化する値上げの波は今後も継続しそう」と指摘します。